

## 平成23年度 THP特論 授業スケジュール

金曜日 VI限目 本館1階THPセミナー室

### 〔教育目標〕

- I. 在宅医療を継続する人とその家族のニーズ、社会的背景を包括的に把握し、生涯にわたる健康生活を描き、その実現に向けて効果的なサポート体制を形成し、調整する能力を養う。
  1. 在宅医療を要する人と家族の健康についてライフサイクルと健康問題の視点から理解する。
  2. 在宅医療を要する人と家族のより健康的な生活を整えるために必要な専門性の発揮と職種間の連携の重要性について理解する。
- II. 高齢者を中心として、対象者の生活全体を視野に入れたリハビリテーションの意義を理解し、施設または地域社会の中で暮らす対象者の健康的な生活を創出(planning)し、具体的な援助を行うための視点および能力を養う。
  1. 対象者の身体状況、環境(物理的、制度的)、心理の3つの側面に対し、一定の視点を持って評価、援助ができる。
  2. 対象者に関わる上記3つの側面に対するリハビリテーションの実際および関連領域について理解し、個々の高齢者に応じた健康生活に対する具体的な援助計画を立案できる。

回数	月/日 /限目	講義内容	担当
1	10/7	THP特論の概要/小児在宅ケア (子どもの在宅医療を取りまく現況, 対象の理解, 支援の在り方)	奈良間
2	10/14	子どもと家族のライフステージにそった発達支援 (家庭生活, 地域生活, 発達障害, アセスメント, 連携, 支援の実際)	辛島
3	10/21	在宅出産支援 (対象特性, アセスメント, 在宅出産, ハイリスク母子支援の実際)	鈴木
4	10/28	介護家族支援 (対象特性, アセスメント, 介護適応プロセス, 介護家族支援の実際)	會田
5	11/4	在宅ターミナルケア (対象特性, アセスメント, 在宅ターミナルケアの実際)	安藤
6	11/11	皮膚・排泄ケア専門職の機能拡大とチェンジエイジェンシー	前川
7	11/18	特別講義「医療のプロフェッショナリズムと多職種連携(仮題)」 名古屋大学大学院医学系研究科 植村和正教授	
8	11/25	高齢者を中心とした運動器障害と健康生活	河村
9	12/2	高齢者を中心とした神経機能障害と健康生活	内山
10	12/9	高齢者を中心とした循環器障害と健康生活	山田
11	12/16	高齢者を中心とした物理的環境(衣食住, 建築学的, 工学的)と健康生活	清水
12	1/13	高齢者を中心とした痛みと健康生活	鈴木 <sup>重</sup>
13	1/20	高齢者を中心とした作業活動(ADL, 趣味, レジャー etc.)と健康生活	美和
14	1/27	高齢者を中心とした精神心理と健康生活	鈴木 <sup>國</sup>
15	2/3	全体討議 (それぞれの立場からみた各専門職の役割)	

評価方法: 出席状況、最終レポートにより評価する。

授業の問い合わせ先: リハビリテーション療法学専攻 鈴木重行 [suzuki@met.nagoya-u.ac.jp](mailto:suzuki@met.nagoya-u.ac.jp)  
看護学専攻 奈良間美保 [narama@met.nagoya-u.ac.jp](mailto:narama@met.nagoya-u.ac.jp)